

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7  
災害に強い県土づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 星野 充孝

電話番号

0852-22-5195

事務事業の名称	海岸維持修繕事業	
目的	(1) 対象	海岸周辺住民
	(2) 意図	適正に管理することにより周辺住民が安心して暮らせるようにする
事業概要	海岸管理施設の機能を良好な状態に保つため、国土交通省水管理・国土保全局所管海岸において、海岸修繕事業を実施する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	修繕箇所数	目標値		10.0	10.0	10.0	10.0	箇所
	式・定義	年毎の修繕箇所数	取組目標値						
			実績値	4.0	7.0	6.0			
			達成率	-	70.0	60.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	50,783	104,717
うち一般財源(千円)	48,059	104,717

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

巡視・点検及び地元からの通報等により修繕の必要ない箇所を把握すると共に重要度を検討し、優先順位付けを行い計画的に実施している。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

冬期風浪及び突発的な爆弾低気圧による堆積土砂を押し出すことにより、人家への飛砂被害が軽減できた。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

修繕要望箇所が多く、全てに対応することは困難である。

### ②困っている状況が発生している「原因」

修繕要望箇所に必要な予算を確保できない。

### ③原因を解消するための「課題」

巡視・点検を強化し、修繕箇所の優先順位付けをする必要がある。  
養浜においては、サンドリサイクルや工事間流用によりコスト縮減を図る。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

修繕箇所の優先順位付けによる計画的な修繕の実施に努める。  
H30より公共施設等適正管理推進事業債が拡充され、海岸保全施設の長寿命化を図る地方単独事業も対象となったことから、これの適用に必要な個別施設計画(長寿命化計画)の策定を進める。  
「圃の長浜土砂管理計画」に基づくサンドリサイクルの実施に向け、関係機関との協議調整を図る。